

特定非営利活動法人 ほっとはうす

令和4年度 事業報告

1. 事業の成果

【介護サービス事業】

小規模多機能型居宅介護事業

今年度も前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、サービス利用の調整や戶外活動の制限が出ることとなり、積極的な外出の自粛を余儀なくされる状況が続いた。その中でも感染対策として職員や利用者の体温測定、マスクの着用、手洗いうがいの励行や事業所内、公用車のこまめな消毒を行いながら介護支援サービスに努めてきた。

しかし、10月から12月にかけて利用者をはじめ職員もコロナ感染症に罹患し、12月にはクラスターが発生、数日間ではあるが通所サービスを一時的に休止することとなった。その間は訪問サービスで対応し、それ以上の感染拡大には至らなかったことは幸いであった。まだまだ感染対策を必要とする状況にはあるが、「通所」「訪問」「泊まり」の三つのサービスを柔軟に組み合わせたケアが提供できる、小規模多機能型の事業所としての特徴を生かし、他の事業所では対応できないケースについても受け入れ、ご家族へのサポートも行いながらきめ細かな在宅ケアの支援に努めてきた。その結果、利用登録者は月平均20名を確保することができたが、比較的軽度の利用者が大半を占めたことによる介護報酬の減収、ロシアのウクライナ侵攻に伴う急騰な物価の上昇等も伴い、ランニングコストも増大し、大幅な赤字決算となった。年度末にはやや回復傾向にあるものの予断を許さない状況が続いている。

利用者やその家族の多種多様なニーズに対応するためには、職員の理解とスキルアップは重要な課題である。計画的な年次有給休暇の取得や残業時間の削減など、働きやすい職場づくりに努めるとともに、経験年数や職責に応じた外部研修への派遣を積極的に行い、毎月のケア会議、伝達研修やカンファレンスを通して、職員相互のスキルアップや介護技術の向上にも取り組んできた。今後もマンパワーの強化を図りつつ利用者やご家族の介護支援に努めていきたい。

地域の方から率直なご意見や情報をいただける機会となる運営推進会議は、今年度も感染予防のため会議の自粛を余儀なくされ、年間を通して文書にての報告に留まったが、毎年お願いしている「外部評価～地域かかわりシート～」については、貴重なご意見等をお寄せいただき次年度の改善計画に反映できた。

今後も利用者が住み慣れた地域での生活を継続できるよう、地域住民の方々との交流も図りながら、地域の介護サービスの一つの拠点として、近隣の方々が気軽に立ち寄っていただける、身近な支援施設となるよう取り組んでいきたい。

【介護予防事業（ふれあいサロン）】

コロナウィルスの感染予防のため、各地域におけるふれあいサロン活動が自粛される中、高齢者の方々の居場所や交流の機会が失われている状況がまだ続いている。当法人の原点である介護予防事業「ふれあいサロン」はコロナ禍ではあるが毎月2～3回開催し、笑の里の利用者と交流しながら楽しく一日を過ごしていただくことができた。ビデオ体操やパズルなどで、筋力の維持向上や脳トレに取り組み、季節ごとの作品作りや行事にも参加いただいた。

小規模多機能型居宅介護事業所 笑の里

令和4年度 事業報告

<運営>

① 利用登録状況

- ・月平均 20.4名(上半期 18.8名 下半期 22.0名)
- ・新規(再)登録 12名(4月1名、5月2名、7月1名、8月2名、9月1名、11月1名、12月1名、1月2名、2月2名)
 - …長寿福祉課 2 障がい福祉課 1 居宅CM1 医療機関 1 老健施設 1
 - 利用者家族 3 家族 3
- ・終了 10名
 - …死亡 3(うち看取り 1) 特養入所 1 サ高住入所 1 老健入所 2 保護入院 1
 - 居宅移行 1 非該当 1
- ・休止 1名
 - …自宅療養 1
- ・要介護度 平均 1.6(昨年度平均より 0.17 減)
登録者の約 5 割が要介護 1、8 月以降要介護 4・5 は 0 名

※「認知症高齢者の独居ケース」

- ・昨年度に引き続き、独居または家族と同居であっても認知症による徘徊や暴言暴行など激しい行動が見られるケースについて、市の担当課や包括支援センター、近隣者や警察、医療機関と連携することが多い。
- ・緊急保護を要し、入院や施設入所を行ったケースもあった。

「軽度要介護者の増加」

- ・新規認定時は、状況把握が難しいこともあるためか、要介護度が軽度に判定されることが多いように思われる(登録時、困難ケースであっても要介護 1 であることが多い)。サービスを開始してから重度の要介護状態であることが明らかになり、要介護状態の区分変更を申請しても認定後、入院・入所となるが多かった。
- ・登録数があっても要介護度が軽度の利用者の割合が多いため報酬に反映されにくい状況がある。状況に応じた要介護度を認定戴くため、随時、変更申請を行っている。

「登録者の高齢化」

- ・年度末時の登録者のうち 90 歳以上は 55%、85 歳以上は 75%であり、疾病や老衰でいつ急変してもおかしくない状況が常にあるといっても過言ではない。終末期や急変時に迅速・適切に対応できるよう個別に対処できるよう体制をつくっておく必要がある。

「介護保険外サービス支援契約者」

- ・2名(R5年3月末現在)…主に通院支援を行っている。

② ・通い …平均約 8.3 名/日(参考：昨年度 7.8 名/日)

ニーズに応じた計画実施。

訪問対応のみ利用者毎月 1~2 名あり。

認知症や独居の対応、季節により毎日ケアを計画するケースあり。

- ・訪問 …平均約 184 回/月、6.0 回/日(参考：昨年度 175.5 回/月、5.7 回/日)
独居が多く、主に通い送迎前後の身体介護や家事支援、服薬管理。

- ・泊まり…平均約 3.5 名/回、6.4 日稼働/月(参考：昨年度 3.6/回、7.3 日稼働/月)。
昨年に続き、通いや訪問サービスで自宅でのケアや生活ができており、泊まり必要者、希望者が少ない。

③ 事故報告

- ・市に報告したケースはなし。
- ・ヒヤリハットによる発見とその対策を講じ、事故を未然に防ぐ努力を継続。

④ 職員体制

- ・介護職員 常勤 1名 退職
- ・介護職員 非常勤 1名 退職

⑤ コロナ感染報告

- ・10月職員2名
- ・11月職員1名
- ・12月職員3名 → 利用者家族からの感染発症。
クラスター発生(12/11~15 通い休業、訪問対応)。
- ・濃厚接触者となり欠勤した職員もあったが、PCR 検査の実施やマニュアルに沿って感染予防を行い、発症を最小限に抑えることができた。
- ・感染予防について県や市から通達を受け、感染に係る情報を周知し予防に取り組んだ。
- ・利用者ご家族のコロナ感染症の認識・病識不足を感じた。

<取り組み>

- ① 登録者の心身の状態変化に伴う要介護度の見直しを適宜、モニタリングし、適切な要介護度の認定のもと一人ひとりの能力、レベルに応じたサービスを提供。
- ② コロナ感染症対策として、手指消毒やうがい、室内や送迎車内の換気を行い業務にあたった。ご家族の行事参加は見合わせている。市の指導により、運営推進会議は書面にて会議を継続。介護相談員訪問はクラスター発生後、見送った。
- ③ 安全運転管理者の選任・届出を行い、業務開始前または後に検査し記録し業務にあたった。

<日課・月間予定>

- ① 行事
 - ・事業所内でのレクリエーション、ドライブを実施した。
- ② 研修
 - ・外部研修に参加し、個々のスキルアップを行った。
 - ・内部勉強会を毎月実施しスキルアップに努めた。
→業務に反映できていると思う。更なるスキルアップを目指す。
- ③ 会議
 - ・「ケア会議」…毎月1回実施。業務改善・ケアの統一化・リスクマネジメントを主旨とする。
 - ・「カンファレンス」…中間モニタリングを行うこととし、毎月半ばに実施。
ケア目標と取り組み内容の確認を行い、ケアを充実していくための方討、実施。

<ふれあいサロン>

- ① ボランティア協力のもと、自宅での閉じこもり予防、外出支援として、毎月3回開業。
- ② 生活や身のまわりの困りごとなどの相談に応じ、要介護状態にならないようアドバイスしたり、福祉や介護保険制度の専門的な相談に応じた。
- ③ 現在、利用者2名。

小規模多機能型居宅介護事業所「笑の里」年間計画

項目 月	行事・レクリエーション	研修・勉強会	会議等	防災	その他
	内容	内容	内容	内容	内容
4月	お花見ドライブ(1日・9日) 花見弁当(8日・9日) しゃくなげ鑑賞(中止)	6 勉強会(防災)	77会議・カンファレンス	自主点検	笑だより発行
5月	母の日ワワアレンジメント(6日・7日) なんじゃもんじゃ観賞(9日・10日)	6 勉強会(排便・便秘)	77会議・カンファレンス	自主点検	笑だより発行 ノウイン・0-157予防取組
6月	父の日喫茶(17日・18日) 茅の輪くぐり(27日・28日)	3 勉強会(浮腫) チームター-養成研修(~12月)	77会議・カンファレンス 運営推進会議・小多機部会	自主点検	笑だより発行 ほっとはうす総会
7月	七夕まつり(6日・7日)	1 勉強会(NPO法人について) 中堅期研修(~8月)	77会議・カンファレンス	自主点検	笑だより発行
8月	夏まつり(25日・26日)	5 勉強会(せん妄) チームター-研修(~9月)	77会議・カンファレンス 運営推進会議	自主点検	笑だより発行
9月	敬老祝賀会(19日・20日)	7 勉強会(傾聴・コミュニケーション) チームター-養成研修(~2月)	77会議・カンファレンス 小多機部会	自主点検	笑だより発行 家族懇談会
10月	運動会(21日・22日)	4 勉強会(嚥下)	77会議・カンファレンス 運営推進会議	自主点検	笑だより発行 インフルエンザ 予防接種
11月	馬淵学区文化祭(5日・6日) 紅葉狩り(太郎坊12日・14日・15日)	3 勉強会(入浴介助) 小多機部会研修会	77会議・カンファレンス 小多機部会	自主点検	笑だより発行
12月	クリスマス忘年会(23日・24日)	5 勉強会(介護の視点)	77会議・カンファレンス 運営推進会議	自主点検	笑だより発行
1月	初詣(9日・11~13日・15日) もちつき(16日・17日) 獅子舞(29日)	4 勉強会(モニタリング)	77会議・カンファレンス	自主点検	笑だより発行 サービス自己評価
2月	節分豆まき(2日・3日) バレンタインデー(13日・14日)	1 勉強会(伝達研修:生命維持) 管理者研修	77会議・カンファレンス 運営推進会議	自主点検	笑だより発行 事業所自己評価・情報公表
3月	ひな祭り(2日・3日)	3 勉強会(伝達研修:介護過程の展開)	77会議・カンファレンス 運営推進会議・小多機部会	自主点検 地震想定避難訓練	笑だより発行 外部評価

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者数	受益対象者の 範囲及び人数	支出額 (千円)
高齢者の介護 事業及び介護 支援事業	小規模 多機能型 居宅介護事業	通年 <通所> 9:00~15:45 (356日) <訪問> 随時) (365日) <宿泊> 18:00~9:00 (77日)	近江八幡市 千僧供町 127-1	<通所> 3~7人/日 <訪問> 2~5人/日 <宿泊> 1人/日	<利用登録者> 月平均 20人 <通所利用> 5~14人/日 255人/月 3,065人/年 <訪問利用> 6~10人/日 188人/月 2,251人/年 <宿泊利用> 3~5人/日 23人/月 281人/年	40,166
介護予防支援 事業	ふれあい サロン事業	毎月2~3回 10:0~15:30 (年間 27回)	近江八幡市 千僧供町 127-1 「笑の里」にて	ボランティア 1名	介護認定を受け ていない高齢者 2~3人/回 56人/年	

※詳細については利用状況を参照

(2) その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者数	支出額 (千円)
なし					

令和4年度「笑の里」利用状況

利用件数

	通所		宿泊		訪問	
	件数	稼働日	件数	稼働日	件数	稼働日
4月	226	30	28	7	196	30
5月	253	31	39	9	211	31
6月	237	30	15	4	212	30
7月	235	31	26	8	146	31
8月	258	31	33	9	148	31
9月	257	30	32	9	155	30
10月	272	31	24	8	188	31
11月	274	30	18	6	197	30
12月	223	26	13	3	233	31
1月	287	27	19	4	216	31
2月	247	28	14	4	172	28
3月	296	31	20	6	177	31
計	3,065	356	281	77	2,251	365
月平均	255.0	30.0	23.0	6.0	188	30

稼働率

	定員/日(人)	平均利用者数(人/日)			平均介護度	新規(再)利用者(人)	退所者数(人)
		通所	宿泊	訪問			
4月	通所18人 宿泊5人	7.5	4.0	6.5	1.68	3	2
5月		8.2	4.3	6.8	1.73		2
6月		7.9	3.8	7.1	1.64		1
7月		7.6	3.3	4.7	1.87	2	1
8月		8.3	3.7	4.8	1.56	2	2
9月		8.6	3.6	5.2	1.47	4	1
10月		8.8	3.0	6.1	1.60	1	
11月		9.1	3.0	6.6	1.43	3	2
12月		8.6	4.3	7.5	1.45		
1月		10.6	4.8	7.0	1.60	3	
2月		8.8	3.5	6.1	1.65	2	3
3月		9.5	3.3	5.7	1.57		1
年間平均		8.6	3.7	6.2	1.60		

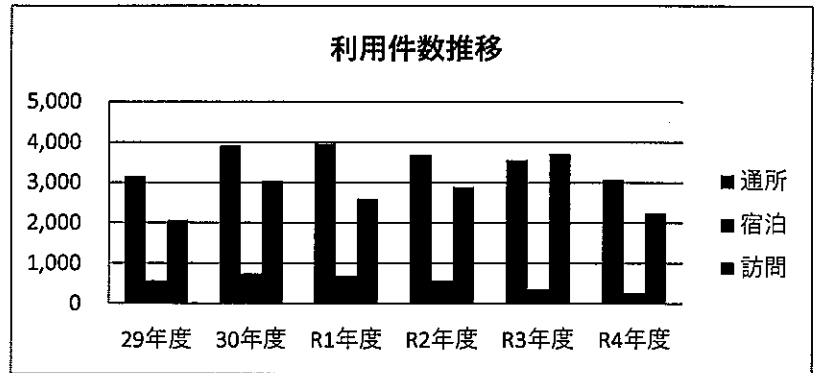
介護度別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	10	9	9	9	10	13	13	14	13	13	11	11	135
要介護2	3	3	3	3	4	4	5	5	5	6	5	5	51
要介護3	2	2	1	2	1	1	1	2	2	4	4	3	25
要介護4	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	4
要介護5	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4
小計	16	15	14	16	16	19	20	21	20	23	20	19	219
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	19
小計	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	19
総計	18	17	16	18	18	21	22	22	21	24	21	20	238

笑の里 利用者数の推移

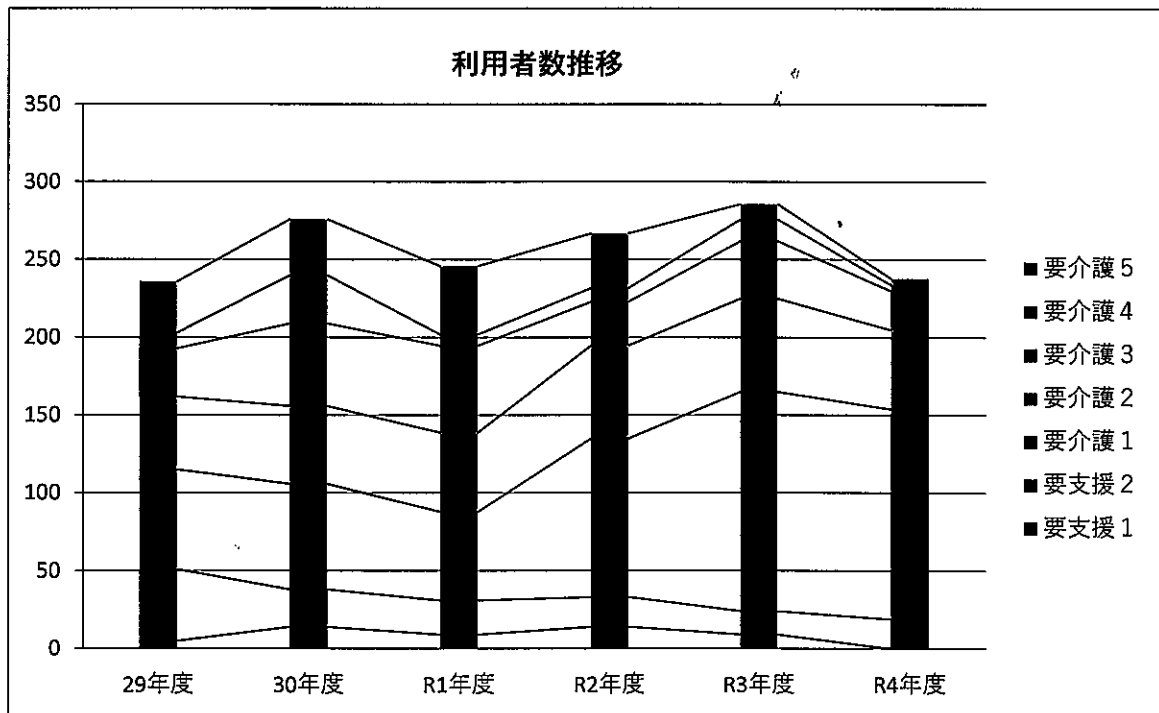
※利用件数

	通所	宿泊	訪問
29年度	3,146	575	2,075
30年度	3,908	747	3,052
R1年度	3,946	690	2,599
R2年度	3,688	570	2,892
R3年度	3,552	357	3,721
R4年度	3,065	281	2,251



※利用者数

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	平均介護度
29年度	5	46	64	47	31	10	33	236	2.5
30年度	14	24	68	50	53	31	36	276	2.7
R1年度	9	22	57	51	56	7	44	246	2.7
R2年度	14	19	102	60	28	9	35	234	2.2
R3年度	9	15	141	60	37	14	10	286	1.8
R4年度	0	19	135	51	25	4	4	219	1.6



特定非営利活動に係る活動計算書
令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

特定非営利活動法人 ほっとはうす

科 目	金 額 (単位:円)	
I 経常収益		
1. 介護保険収入		37,798,560
介護報酬収入	31,068,994	
利用者負担金収入	6,729,566	
2. 助成金収入		704,397
貸金改善支援補助金	342,897	
物価高騰等応援助成金	124,000	
事業継続応援金	237,500	
3. 雑収入		498,750
雑収入	498,750	
4. 事業収入		61,600
サロン事業	61,600	
経常収益合計		39,063,307
II 経常費用		
1. 事業費		40,166,521
(1) 人件費		32,736,195
職員給料手当	27,982,429	
法定福利費	3,696,965	
福利厚生費	1,056,801	
(2) その他経費		7,430,326
旅費交通費	46,600	
研修費	5,410	
教養娯楽費	58,542	
諸謝金	42,574	
通信運搬費	314,742	
広報費	3,960	
消耗品費	336,622	
什器備品費	149,168	
保健衛生費	184,363	
食材費	2,051,471	
光熱水費	916,006	
修繕料	42,825	
印刷製本費	69,099	
燃料費	682,375	
車輛費	285,079	
保険料	822,210	
委託料	317,217	
手数料	60,243	
賃借料	890,820	
諸会費	40,000	
地代家賃	111,000	
2. 管理費		2,659,485
(1) 人件費		1,804,000
役員報酬	1,804,000	
(2) その他経費		855,485
交際費	58,445	
会議費	44,919	
旅費交通費	56,480	
租税公課	166,641	
支払報酬	528,000	
寄付金	1,000	
3. 減価償却費		1,520,098
減価償却費	1,520,098	
経常費用合計		44,346,104
当期経常増減額		-5,282,797

Ⅲ 經常外収益			
受取利息		1,592	
利息	1,592		
經常外収益合計			1,592
税引前当期正味財産増減額			-5,281,205
法人税・住民税及び事業税			72,200
当期正味財産増減額			-5,353,405
前期繰越正味財産額			114,149,821
次期繰越正味財産額			108,796,416

令和4年度特定非営利活動に係る事業会計 貸借対照表

令和 5年 3月31日現在

特定非営利活動法人 ほっとはうす

科 目・摘 要	金 額	(単位:円)
I 資産の部		
1 流動資産		
現金	88,103	
普通預金	18,618,885	
定期預金	70,007,548	
未収金 (介護報酬)	6,170,573	
流動資産合計		94,885,109
2 固定資産		
【有形固定資産】		
建 物	14,653,044	
建物付属設備	1,397,794	
車輛運搬具	5	
器具および備品	2	
土 地	1,500,000	
固定資産合計		17,550,845
資産の部 合計		112,435,954
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	3,511,770	
未払法人税等	72,200	
預り金	55,568	
流動負債合計		3,639,538
負債の部 合計		3,639,538
III 純資産の部		
前期繰越正味財産	114,149,821	
当期正味財産増減額	-5,353,405	
純資産合計		108,796,416
純資産の部 合計		108,796,416
負債及び純資産の部合計		112,435,954

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

- ・財務諸表は、中小企業会計基準により作成。
- ・収益及び費用の計上基準 …… 発生主義
- ・固定資産の減価償却の方法
建 物 …… 定額法
付属設備・車両運搬具・什器備品 …… 200%定率法
- ・有価証券の評価基準及び評価方法 …… 取得原価法

2. 固定資産(減価償却)の増減内訳

科目	取得価額	期首帳簿価額	取得	減少	当期償却額	期末帳簿価額	償却累計額
建物	25,005,186	15,803,282			1,150,238	14,653,044	10,352,142
付属設備	8,377,000	1,532,498			134,704	1,397,794	6,979,206
車両運搬具	5,559,667	215,204			215,199	5	5,559,662
器具・備品	460,988	19,959			19,957	2	460,986
ソフトウェア	210,000	0			0	0	210,000
計	39,612,841	17,570,943	0	0	1,520,098	16,050,845	23,561,996

3. 役員等との債権債務は一切ない。

令和4年度 特定非営利活動に係る事業会計 財産目録

令和5年3月31日現在

特定非営利活動法人 ほっとはうす

科目・摘要	金額 (単位:円)	
I. 資産の部		
1 流動資産		
現金・預金		
現金手許有高	88,103	
普通預金 (滋賀銀行八幡南出張所)	18,618,885	
定期預金	70,007,548	
未収金 介護報酬 (2.3月分)	6,170,573	
流動資産合計		94,885,109
2 固定資産		
建物 (笑の里)	14,653,044	
建物付属設備 (スプリンクラー、物置、トイレ)	1,397,794	
車両運搬具	5	
器具および備品	2	
土地 (近江八幡市)	1,500,000	
固定資産合計		17,550,845
資産の部 合計		112,435,954
II. 負債の部		
1 流動負債		
未払金 (3月分給与等)	3,511,770	
未払法人税等	72,200	
預り金 (雇用保険料)	55,568	
流動負債合計		3,639,538
負債の部 合計		3,639,538
正味財産合計		108,796,416